



吉川小だより

2月号 令和5年1月31日 亀岡市立吉川小学校

E-mail:el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp

学習意欲の喚起

自発性を伸ばし、創造的に生きる力に



強い寒波が大雪を降らせました。近畿周辺の交通も遮断され、災害も起きました。自然は私たちの想定を超えた規模で、襲いかかってくるのがしばしばあります。今回の大雪を教訓にして、今後の備えをしっかりとしたいと思います。

1月の学校生活では、書き初め展や和楽器鑑賞と体験、たこあげ、カルタ遊びなど日本の伝統文化にふれる機会がありました。他にも人形劇団の演劇を全校で鑑賞することもできました。子どもたちにとっては新しい気づきや感動がたくさんあったように思います。人が集い、ふれ合い、共に楽しむ体験を今後も積極的に取り入れたいと思います。



和楽器体験

学校アンケートの結果をまとめました。昨年度に比べ良い評価が増え、教育活動についてご理解いただいたことをうれしく感じています。しかしながら、学習意欲に関わる項目について昨年度と同様に課題を残しました。教育的に適時性を持って関わるのが学校の専門性であることを考えると、大きな反省点となります。低学年ではいろいろな環境や対象に好奇心を持って関わる。その活動の中で物事の性質や自分の能力を身体全体で感じ取る体験が大切になります。高学年では友だちや先生と知識や体験を共有する。その中で、互いの知識や体験をやりとりし、友だちや先生から学んだり、教え合ったりすることが大切になります。これらの体験が創造的に生きる原動力になると言われています。

低学年では好奇心に基づいた、高学年ではさらに仲間や社会からの期待に基づいた学習意欲を喚起し、「自発性・習慣性」の伸長を図る教育活動を推進します。保護者の皆様には、アンケートの回答・提出にご協力いただきありがとうございます。

今月は、全校わくわく大なわ大会、6年生を送る会が予定されています。4月から活動してきた「なかよし班」のまとめの活動として、6年生への感謝の気持ちを伝える場として、全校で一生涯懸命取り組んでいます。それぞれの学年で役割を持って仲良く活動し、めあてを達成していきましょう。



大なわ大会練習

大変寒さの厳しい季節になりました。こんな季節だからこそ、暖かい室内でゆっくり体を休めて活力を蓄えることができます。心・体・生活習慣を整えたり、4月からのことを振り返ったり、3月の締めくくりを考えたりして、やがて来る希望の春を迎える準備を進めていただきますようお願いいたします。



QRコードから
学校だよりが
ご覧いただけます。

節分には、世の中のいろいろな鬼を退治したいものです。感染症対策が進み、みんなが健康でいられますように。世界から、人権侵害や戦争がなくなりますように。

校長 橋本 浩三

